

第4期中期目標・中期計画（概要）

❖基本方針

- 地域活性化へ向けた一層の寄与、地域社会全体の持続的発展の牽引
- 本学の特色ある世界水準の研究力を基盤とした社会変革・地域創生の先導
- イノベーションの創出と人材育成及び研究開発の推進
- 「特色ある地方国立大学」への加速度的転換
- 教育・研究組織の再編・機能強化
- 少子化に向けた入試改革
- 学修者本位の教育改革及びポストコロナ時代の新たな国際化の推進
- 地方創生の基盤となる持続可能な新たな地域医療提供体制の構築

❖社会との共創

- 【01】 地域課題の解決に資する人材養成と地域定着に資する取組の展開
- 【02】 新商品等の開発やブランド化に向けた仕組みの構築と共同研究等の推進
- 【03】 国内外でのQOL検診の普及とコミュニティにおける健康教養の向上

❖教育

- 【04】 数理・データサイエンス教育と地域課題解決型教育の実施による人材育成
- 【05】 大学院教育におけるアセスメント・ポリシーの策定とアセスメント・チェックの実施
- 【06】 産業界等から要請される人材養成と公認心理師養成のための組織体制の構築
- 【07】 青森県教育委員会等と連携した教員養成・研修プログラム開発と教員支援体制の構築
- 【08】 国際基準に即した医学教育の実施
- 【09】 教職課程の全学的な協同実施体制の整備と社会変化に対応した教職課程の構築
- 【10】 国内における国際交流活性化の推進と優秀な留学生獲得のための教育プログラムの提供

❖研究

- 【11】 物質科学、宇宙物理学、地球科学、分子生物学に関する基礎研究の推進
- 【12】 異分野融合プロジェクトの全学的な推進
- 【13】 域学連携による地域や社会の課題解決や文化の理解・振興への貢献
- 【14】 先端的で特色ある医学研究の推進と弘前大学COI事業発展による地域の健康増進への貢献
- 【15】 原子力災害に関する研究の推進と人材育成、福島県浪江町等の復興支援への貢献
- 【16】 再生可能エネルギー研究、生物資源の探索・活用、地域食材の高付加価値化の推進
- 【17】 産学官連携、URA機能等の強化と研究成果の高付加価値化の推進
- 【18】 教員配置の適正化と若手教員の積極的採用
- 【19】 ジェンダーバランスの改善と女性が活躍できる環境の整備

❖その他社会との共創

- 【20】 被ばく医療総合研究所を中心とした多様な共同プロジェクトの推進
- 【21】 健康・医療データサイエンスに係る体制の構築と医療・福祉・介護のデータ群の利活用
- 【22】 地域の教員のミドルリーダー育成のための研修・研究体制の整備と実践的な研修の提供
- 【23】 地域の教育課題（インクルーシブ教育等）の解決に向けた先導的モデルの開発と還元
- 【24】 安全かつ質の高い医療の提供と地域における医療提供体制の改善
- 【25】 医師をはじめとする医療人の教育・研修体制の充実
- 【26】 特定機能病院としての特定臨床研究等の推進

❖業務運営の改善及び効率化

- 【27】 内部統制機能の実質化、ガバナンス・コード適合状況等の改善・見直し
- 【28】 学長の指示による重点事項を担当する学長補佐（仮称）の配置とそれに伴う人材育成
- 【29】 貴重な歴史資料等のデジタル化の推進と知的諸成果の社会への還元
- 【30】 全学的な共用機器支援事業等による共用機器の拡充
- 【31】 病棟整備計画の推進
- 【32】 保有する土地・建物の有効活用と重点的かつ長寿命化に資する整備の実施
- 【33】 共同利用スペースの創出

❖財務内容の改善

- 【34】 積極的な資金運用と戦略的・計画的な募金活動の展開
- 【35】 学長のリーダーシップによる学内資源の再配分の実施

❖業務運営等の改善

- 【36】 自己点検・評価の実施と第三者評価の受審及び大学IRに基づいた運営の推進

❖自己点検・評価、情報提供

- 【37】 活動状況等の積極的な発信に伴う大学ブランドの定着の推進

❖自己点検・評価、情報提供

- 【38】 生産性の高いオンライン業務環境の構築・拡大と安全・安心な情報環境の整備